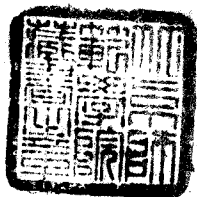


郁遼夫書信集



郁遂夫书信集

浙江文艺出版社



首都师范大学图书馆



21118737

1118737

封面画 郁 风

封面设计 杨 光

郁达夫书信集

本社编

浙江人民出版社出版发行

(杭州武林路125号)

浙江新华印刷厂印刷

(杭州环城北路天本桥境)

浙江省新华书店经销

开本250×1168 1/32 印张8.25 插页2 字数180000 印数0000—6300

1987年10月第1版 1987年10月第1次印刷

统一书号：10317·366 定 价：1.85 元

出版者的话

《郁达夫书信集》包括郁达夫的书简和自传两部分。

著名作家郁达夫留给后人的全部文学遗产中，书信是极为珍贵的一部分。近年来，随着郁达夫研究的逐步深入，他的书信在海内外陆续被发现。这本《郁达夫书信集》，辑录了截至目前所能看到的郁达夫的全部书信。最早的写于一九一四年他留学日本时期，最晚的写于他流亡于南洋的一九四三年。其中，有的信残缺不全，有的在发表时被编者或受信人作了删节，有相当一部分是明信片。

在郁达夫的日记里，有着许多信件往来的记载，迄今发现的，远非他的书信的全部。这些为数不全的书信涉及的内容极为广泛。有行止起居、读书写作的记叙，有对时政和文坛的评述，也有关于理想和痛苦的诉说，等等。从这一封封出自肺腑的书信中，可以看到郁达夫丰富而又坎坷的生活踪迹，他的鲜明的爱憎，深厚的学养和非凡的才华，他的勤奋的研读和对事业执著的追求，他的坦率直诚，矛盾，苦闷，彷徨……它们忠实地录下了郁达夫的思想发展变化，以及我国自“五·四”到抗日战争时代风云变幻的时代侧影。

由于郁达夫的信函多数是私人间的通信，原无公开发表之意，因而不事雕饰，不拘一格，信笔侃侃而谈，这也就更见其真率质朴，更为生动，更能显示作家的人格和文风，更可以窥到作家的全人。这些信件，既是反映作家真情而又别具一格的

散文佳作，也是研究郁达夫思想、生活和创作道路的第一手资料，特别那些涉及文坛内情的函件，更是我国新文学运动十分珍贵的历史文献。希望这部书信集的出版，能为研究作家郁达夫和研究中国现代文学，提供一些方便和帮助。郁达夫的书信，散佚者尚多，也希望本书的出版，能进一步推动郁达夫书信搜集工作的持续进行。

现将本书编辑上的一些情况，说明于后：

本集所收书信共一百八十七封，其中明信片四十五封。作者用书信体写的散文或文论，已分别编入我社出版的《郁达夫散文集》或《郁达夫文论集》中，本集不再收入。

书信编排以写作日期的先后为序，对原信未注明时间的，根据书信内容并参考郁达夫日记等资料斟酌排定。

致日本人士的书信，原是用日文书写的，为便于广大读者阅读，都请人译成中文附在原信之后。

本书在书信之后，编入了郁达夫自叙青少年时代生活的自传九章。这九章自传，写于一九三四年——一九三六年初，发表于《人间世》和《宇宙风》杂志，自它们问世之日起，就以其清丽婉约的抒情风格赢得了广大读者的喜爱和赞誉。因自传篇幅不多，难以单独成集，现与书信同编于本集。排列顺序与书信相同。

书信和自传所根据的版本或出处，都在各篇末后或题注中注明。有些与书信有关的情况，亦在题注中简略地交代说明。编辑过程中，除对书信手稿和原出版物中明显的错漏作了订正外，文字内容均一仍其旧。

本集约请杭州大学中文系沈绍镛同志搜集、校订和编辑，并得到作者家属郁飞同志的大力协助，在此表示衷心的感谢。

浙江文艺出版社

一九八六年七月

目 录

书 信

一九一四年

- 3 致陈碧岑

一九一六年

- 5 致郁曼陀、陈碧岑(×月9日)
7 致陈碧岑
9 致郁曼陀(9月4日)

一九一七年

- 11 致郁曼陀(3月4日)
12 致富长觉梦(3月10日)

一九一八年

- 13 致郁曼陀
14 致郁曼陀(4月27日)

一九一九年

- 17 致孙 荃(夏历7月8日)
17 致胡 适(10月13日)

一九二〇年

- 20 致陈碧岑

一九二三年

- 23 致胡适(5月17日)
24 致周作人(10月22日)
25 致周作人(11月1日)

一九二五年

- 26 致《现代评论》编辑(10月17日)

一九二六年

- 30 致玄背社(11月15日)

一九二七年

- 33 致王映霞(夏历1926年12月25日)
34 致王映霞(夏历1926年12月27日)
34 致张友鸾(1月30日)
37 致王映霞(夏历1926年12月28日)
38 致王映霞(2月10日)
38 致王映霞(2月10日)
40 致王映霞(2月11日)
41 致王映霞(2月15日)
43 致王映霞(3月1日)
44 致王映霞(3月4日)
48 致王映霞(3月6日)

- 49 致王映霞 (3 月 8 日)
50 致王映霞 (3 月 9 日)
51 致王映霞 (3 月 11 日)
53 致王映霞 (3 月 11 日)
54 致王映霞 (3 月 11 日)
55 致王映霞 (3 月 12 日)
57 致王映霞 (3 月 12 日)
57 致王映霞 (3 月 14 日)
59 致王映霞 (3 月 14 日)
60 致王映霞 (3 月 15 日)
61 致王映霞 (3 月 16 日)
63 致王映霞 (3 月 17 日)
64 致陈锡贤、王映霞 (3 月 17 日)
64 致王映霞 (3 月 17 日)
65 致王映霞 (3 月 19 日)
66 致王映霞 (4 月 3 日)
68 致王映霞 (4 月 5 日)
70 致王映霞 (4 月 6 日)
71 致王映霞 (4 月 6 日)
72 致王映霞 (4 月 9 日)
72 致王映霞 (4 月 9 日)
73 致王映霞 (4 月 10 日)
74 致王映霞 (4 月 13 日)
75 致王映霞 (4 月 21 日)
76 致王映霞 (4 月 22 日)
77 致王映霞 (4 月 23 日)
78 致王映霞 (4 月 25 日)

- 79 致王映霞(4月25日)
80 致王映霞(4月28日)
81 致王映霞(4月30日)
81 致王映霞(5月1日)
83 致王映霞(5月3日)
84 致王映霞(5月5日)
85 致王映霞(5月7日)
86 致王映霞(5月8日)
87 致王映霞(5月9日)
88 致王映霞(5月11日)
89 致王映霞(5月16日)
90 致王映霞(5月17日)
91 致王映霞(6月28日)
92 致蔡元培(11月14日)

一九二八年

- 93 致佐藤智慧子(1月13日)
94 致佐藤春夫(3月9日)
96 致楚狂(6月1日)
97 致马凌霄(7月12日)
98 致李匀之(7月)
100 致史济行(9月30日)
101 致史济行(10月8日)
101 致《荒岛》半月刊的同人(10月20日)
102 致爱吾(10月)

一九二九年

- 105 致清 霜 (1 月)
- 107 致史济行 (2 月 21 日)
- 107 致史济行 (3 月 20 日)
- 108 致钱公侠 (4 月 11 日)
- 109 致史济行 (4 月 12 日)
- 109 致史济行 (7 月 31 日)
- 110 致周作人 (9 月 19 日)
- 111 致史济行 (11 月 2 日)

一九三〇年

- 112 致周作人 (3 月 17 日)
- 112 致《大众文艺》编者 (4 月 3 日)
- 113 致周作人 (5 月 21 日)
- 114 致周作人 (6 月 23 日)

一九三一年

- 116 致赵景深 (3 月 19 日)
- 116 致周作人 (7 月 6 日)
- 117 致邓 铤 (7 月 14 日)

一九三二年

- 119 致王映霞 (10 月 15 日)
- 120 致王映霞 (10 月 17 日)
- 121 致王映霞 (10 月 17 日)
- 121 致王映霞 (10 月 18 日)

- 122 致王映霞 (10月19日)
- 123 致王映霞 (10月19日)
- 124 致王映霞 (10月20日)
- 125 致王映霞 (10月20日)
- 126 致王映霞 (10月24日)
- 127 致王映霞 (10月24日)
- 127 致王映霞 (10月25日)
- 128 致王映霞 (10月26日)
- 129 致王映霞 (10月27日)
- 130 致王映霞 (10月28日)
- 131 致王映霞 (10月29日)
- 132 致王映霞 (10月30日)
- 133 致王映霞 (10月31日)
- 133 致王映霞 (11月1日)
- 134 致王映霞 (11月3日)
- 135 致王映霞 (11月5日)
- 136 致叶灵凤 (11月5日)
- 136 致王映霞 (11月6日)
- 137 致王映霞 (11月8日)
- 138 致王映霞 (11月9日)
- 139 致王映霞 (11月10日)
- 140 致王映霞 (11月18日)
- 140 致王映霞 (11月21日)
- 141 致王映霞 (11月24日)
- 142 致王映霞 (11月27日)
- 142 致王映霞 (12月1日)
- 143 致王映霞 (12月2日)

- 144 致王映霞 (12月3日)
- 144 致王映霞 (12月4日)
- 145 致王映霞 (12月5日)
- 146 致王映霞 (12月6日)
- 146 致王映霞 (12月9日)

一九三三年

- 148 致曾今可 (3月27日)
- 149 致赵家璧 (8月24日)
- 149 致杜衡 (11月6日)

一九三四年

- 151 致赵家璧 (6月12日)
- 152 致赵景深 (6月17日)
- 152 致叶圣陶 (9月21日)

一九三五年

- 153 致《妇女旬刊》编辑
- 153 致周作人 (1月21日)
- 155 致许廑父 (3月12日)
- 155 致赵家璧 (9月16日)

一九三六年

- 157 致陶亢德 (2月12日)
- 158 致曹靖陶 (3月27日)
- 158 致曹天风
- 159 致井伏鱒二 (9月28日)

- 160 致许广平(10月19日)
161 致×××
161 致林语堂

一九三七年

- 163 致田中庆太郎(1月7日)
164 致黄华表(1月21日)
164 致董秋芳(3月9日)
165 致小田嶽夫(3月15日)
166 致赵家璧(3月26日)
166 致郭沫若(5月18日)
167 致郭沫若(5月18日)
168 致胡灼三(5月19日)
168 致赵家璧(7月20日)

一九三八年

- 169 致郭沫若(1月20日)
170 致刘开渠(5月29日)
170 致刘开渠(7月19日)
171 致刘开渠(7月26日)
172 致易君左(8月3日)
173 致王映霞(9月22日)
173 致王映霞(9月23日)
174 致王映霞(9月25日)
175 致王映霞(9月25日)
175 致王映霞(9月26日)
176 致王映霞(9月28日)

- 176 致王映霞 (9月28日)
- 177 致王映霞 (9月28日)
- 178 致王映霞 (9月28日)
- 178 致陆丹林 (10月1日)

一九三九年

- 180 致尔 融
- 181 致何 扬
- 181 致楼适夷
- 182 致戴平万 (2月2日)
- 184 致《抗战文艺》编者
- 184 致许广平 (2月11日)
- 185 致陆丹林 (2月14日)
- 186 致晓 光 (3月1日)
- 187 致柯 灵 (3月3日)
- 189 致戴望舒 (3月4日)
- 190 致林连夫
- 191 致楼适夷
- 191 致萧 玲 (5月13日)
- 192 致陆丹林 (5月16日)
- 193 致陶亢德 (11月17日)
- 194 致楼适夷
- 194 致罗 颖

一九四〇年

- 195 致戴望舒
- 196 致占 梅

一九四一年

- 197 致李冰人(10月2日)

一九四三年

- 198 致张紫薇(7月11日)

自 传

- 201 所谓自传也者
203 悲剧的出生(自传之一)
209 我的梦, 我的青春!(自传之二)
214 书塾与学堂(自传之三)
219 水样的春愁(自传之四)
226 远一程, 再远一程!(自传之五)
231 孤独者(自传之六)
236 大风圈外(自传之七)
242 海上(自传之八)
247 雪夜(自传之一章)

书信

